

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

2016(28)年 週 報

仮庵聖会特集号

8月28日

「自分の妻を愛しなさい」

第4聖日

第3470号

聖
言

夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。エペソ 5:25

主の弟子となる⑰
第二課 バプテスマ——次のステップ
論点を考える

今日、誰がクリスチャンになっても、バプテスマが無視される事がよくあります。これは、ある意味で、私たちの社会が本当の共同体を殆ど知らない個人主義者会なので当然の事と言えるでしょう。確かに私立ちの救いは、個人的なものです。そして多くの弟子訓練のテキストは、バプテスマや、信者にとって生活の中心であるはずの地区教会の必要性について、考慮に入れないか、ほんの少し触れているぐらいです。しかし、新約聖書はバプテスマを非常に重要なものと考えています。次の質問はバプテスマの重要性について、さらに深く考えるためのものです。

論点 バプテスマの意味と重要性

話し合い前に論点を考えてみましょう

一、弟子とせよというイエスの命令の中で、バプテスマ王はどのような役割を果たしているでしょうか。また、それはなぜですか。

二、私の社会で、しばしばバプテスマが顧みられないのはなぜですか。

三、この命令を無視した結果、どのようなことが起こりますか。また、従った場合はどうですか。

(CIBTE主の弟子より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

かではあるが体験した。永遠に意識があるのに動けないというのが地獄である。クリスチャンはそうではなく、いつでも神が共にいてくださるのである。

九月行事計画

二日(金) 楽しい月一回の祈り 午後一時
 四日(日) ヨベル約束献金日 礼拝後役員会
 八日(木) 納骨堂掃除 午前10時
 一九日(月) 教団牧師会 午前10時
 二六日(月) 説教塾 午前11時 神港教会
 二七日(火) 〓三〇日(金)日本伝道会議 神戸コンベンションセンター

※九月会計役員 小段姉 大内姉
 九月の召天会員

一日	新福	勇兄	三七周年
二日	山川	早女姉	三〇周年
三日	村山	鶴子姉	二八周年
七日	村山	千代子姉	七一周年
一〇日	藤原	しか姉	六九周年
十一日	西原	次郎兄	五〇周年
十二日	仲里	俊姉	四九周年
十五日	森	勘太郎兄	七四周年
十五日	砂川	好秋兄	五九周年
二二日	北田	やぶ姉	八二周年
二二日	高橋	葉子姉	三二周年
二二日	松原	善子姉	一六周年
二三日	片山	ヨシノ姉	三四周年
二六日	杉山	シゲ姉	六二周年

二七日	守屋	幹二兄	一五周年
二七日	魚住	忠功兄	三周年
二八日	桑田	庫三兄	八五周年
三〇日	守屋	郁恵姉	七五周年
三〇日	野崎	年恵姉	五七周年

第六回日本伝道会議 (JCE6)

二〇一六年日本伝道会議基本理念
 日本におけるプロテスタント宣教一七〇年を迎える二〇一六年九月、私たちは神戸において第六回日本伝道会議(JCE6)を開催します。その初期において福音派アンデントイテイである「聖書信仰」を確認したJCEは、JCE4では教会が「和解の福音」の使者であることを明らかにし、JCE5では福音のための「宣教協力」を広くまた深く進める事を目指しました。JCE6ではその歩みと現在の取り組みを確認して、そして七年後に予定されているJCE7に向かって具体的な宣教協力を進めます。

日時 九月二七日(火) 〓三〇日(金)
 二七日午後三時〜七時 夕食弁当
 二八日二九日 午前九時〜午後九時 昼食弁当 夕食各自
 三〇日 午前九時〜一二時半 昼食弁当 夕食各自
 場所 神戸コンベンションセンター
 神戸市中央区港島中町六ノ十一ノ一
 (ポートアイランドモノレール市民広場)

費用 全日通し 一万四千元 (四千元教会負担) 一万円
 係り 小段姉